

発行 一般社団法人ワムタウン推進本部
〒359-1131 埼玉県所沢市大字久米 554 番地 2
TEL 04-2941-3640 FAX 04-2941-3641
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会

第131号 2022年/令和4年5月1日(日)

入職のご挨拶

医療法人啓仁会 豊川さくら病院 (愛知県豊川市) 医師 三溝 啓



医師 三溝 啓

本年4月より豊川さくら病院にて勤務させていただいております、三溝と申します。

工学部を卒業後は自動車会社と電機メーカーを経て北海道大学医学部に学士入学しました。

サラリーマン時代は海外工場の立ち上げや品質管理、サプライヤー指導等を行い、人事部を経て医学部入学を決意しました。

2016年に卒業し、名古屋大学医学部付属病院などで老年内科にて脳梗塞を含む内科全般及び褥瘡など高齢者医療に携わってきました。昨年は新型コロナウイルス専門病院での勤務も経験しました。もともとプライマリ・ケアや訪問診療に興味があり、外勤となりますが訪問診療を3年間継続して行ってきました。

これからの高齢化社会に対応した、よりよい医療やケアを提供できるように、常に知識をアップデートし、経験を積み重ねていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

医療法人昭仁会 北野病院 (埼玉県新座市) 医師 関田 吉久



医師 関田 吉久

本年4月より北野病院に入職しました関田吉久と申します。1994年に宮崎大学を卒業し、東京医科歯科大学第一外科に入局しました。大学及び関連病院で13年間、その後志木市民病院、多摩北部医療センターと地域医療に15年間外科医として勤めてきました。

慌ただしい日々を送る中、ふと自分自身のこれからの人生を考える機会があり、メスを置くことを決心しました。その後は、毎日の通勤の行き帰りに、大きな北野病院の看板が目に入り込んできたというわけです。

今まで培った経験・知識・技術を総動員して、人生の最終ステージを迎えている患者さんとその家族の方々に、少しでも良い時を過ごしてもらえるように頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



今年も華やかに彩ります。所沢ロイヤル病院のさくらの会

医療法人啓仁会 所沢ロイヤル病院 (埼玉県所沢市) レクリエーション委員会 合田 正之 (リハビリテーション科)

当院ではレクリエーション委員会の企画として毎年4月に“さくらの会”を開催しております。

新型コロナウイルス感染症が日本国内で確認される以前はリハビリテーション室に“さくら”を飾り、患者様にお茶・おやつを提供させて頂き、皆さんと楽しい時間を過ごすイベントとなっております。

しかし、コロナ禍で感染対策の為、従来通りの“さくらの会”が開催出来なくなりました。この状況下で3密を避け、感染予防対策のもと可能な企画として一昨年より各病棟に“さくら”を飾らせて頂いております。

“さくら”はリハビリテーション科スタッフ、通所・外来の利用者様、病棟患者様・職員と病院全体の協力のもと作成しております。

花びらの作成から枝への取り付けと細かく、時間の掛かる作業が多いため例年1月中旬から準備を始め、4月上旬の完成に向け作業を進めていきます。完成後の“さくら”は病棟の廊下に飾らせて頂いております。(写真は昨年時)

今年も4月に入り準備も進み完成間近にな

りました。今年は4/13(水)～4/20(水)の期間で“さくら”を飾らせて頂く予定です。病院周辺のさくらは散ってしまいましたが、ロイヤル病院のさくらはまだまだ満開です!!

病棟から出ることが出来ない患者様、日々忙しく業務にあたる病院職員の皆さんに少しでも季節感を感じて頂き、一瞬でも気持ちりが和んで頂ければ嬉しい限りです。



さくらの材料



完成したさくら



作業風景



病棟を華やかに彩ります

シナプソロジーで脳がイキイキ活性化！！

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘 (埼玉県所沢市) 通所リハビリテーション 介護福祉士 内藤 雅実

いきなり、シナプソロジーで脳がイキイキ活性化！なんてタイトルで、何言っているかわかりませんよね！失礼しました。

この度、老健所沢ロイヤルの丘・デイケアでは『シナプソロジー』というものを取り入れました。シナプソロジーとは、「出来る事を目的にしない、出来なくても、新しい刺激に対応することに脳の活性化が期待できるプログラムです」この「シナプソロジー」の効果で

1. 手先の器用さ、集中力が向上する。
2. 注意機能が向上する。
3. 活動快適 (活気・元気・陽気・ハツラツなど) の心理が向上する。
4. 記憶に対する満足度が上がる。

などが実際に検証され立証されております。

具体的にどのような事をするのかと言いますと、(見る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる) という体の五感と、(記憶、学習、注意、集中、思考、言語) などの認知機能を同時に行う動きを行ないます。

シナプソロジーを効果的に進めるにあたって、各エクササイズには基本動作があります。この基本動作を繰り返して慣れてもらいます。

そして基本動作に慣れてきたら、言葉などを変えて新しい刺激に変化させます。この刺激を変化させることを「スパイスアップ」と言います。例えば最初に

- 「1と声を出して頭」「2と声を出して胸」「3と声を出し腰」「4と声を出し足」という感じでそれぞれを手で触っていきます。

この時に、皆さんは手を使うという五感と、1は「頭」2は「胸」と順番を記憶しました。

- 次に新しい刺激を与えます。「スパイスアップ」1から4の順をバラバラに言います。

例えば、3は「腰」・1は「頭」・4は「足」・2は「胸」と手で触っていきます。

この時に、1～4の順番で覚えたものが、3・1・4・2と順番が変わる事で順番の記憶という認知機能に刺激が行きます。

- 更に新しい刺激を与えます。「スパイスアップ」数字を色に変えます。

例えば、赤は「頭」・青は「胸」・黄は「腰」・緑は「足」を手で触っていきます。

今度は、番号の記憶が色の記憶に変わる事で、認知機能に刺激が行きます。

大切なのは出来る事を目的ではなく、「順番を間違えてしまった。」「色を声に出すのに数字を言ってしまった。」と間違ってもいいんです。何かに新しく変わった時、その変わった事に少しでも気付いたり、感じたり、考える事が出来れば、脳に刺激がいき活性化されるんです！

現在ロイヤルの丘の通所リハビリでは、シナプソロジーのインストラクター資格を4名が取得しました。まだまだ、やり始めれば自分で戸惑っていても、自然に笑顔と会話が生まれるような楽しい生活が共に出来るように頑張ります！！

「シナプソロジー」は“脳の混乱”を楽しむプログラムです。



シナプソロジーとは①

シナプソロジーは新たな刺激を脳に与えます

シナプソロジーは、五感や認知機能へ新たな刺激を与え、それに対応することで脳を活性化させるプログラムです。新しい刺激に応じ脳が混乱した状態を作ることによって、脳を活性化させ、注意機能や認知機能を高めることが期待できます。みなさんも、シナプソロジーで楽しく脳を活性化しませんか？



シナプソロジーとは②



遅れもいいです！間違ってもいいんです！



インストラクター資格

お誕生会の手作りサンドイッチ

社会福祉法人栄光会 特別養護老人ホーム かわぐちロイヤルの園 (埼玉県川口市) 栄養科 管理栄養士 須藤 文子

当施設では、お誕生日を迎えられるご入居者のために、毎月各ユニットで『お誕生日会』を開催しています。今回はその中から4 屈屋麻・鴉(とき)ユニットでチャレンジした『手作りランチ』の会をご紹介したいと思います。

今企画は会の主役であるご入居者の好物がサンドイッチということでしたので、「それならユニットのみんなで作れるのでは」という発想から始まり、「せっかくやるならば、昼食をまるごとお誕生会にしてしまおう！」と最近ではいつもより少し大きな規模のレクとなりました。多くのご入居者が参加できるよう献立にも配慮し、卵やハムチーズ、果物をトッピングしたムースなど調理が簡易なものを選びました。

会当日は、料理をほとんどしてこなかったというご入居者にも、サンドイッチの具材を混ぜ

る工程を手伝ってもらうなど、皆さまに無理のない範囲で参加していただきました。もちろん、料理が好きだというご入居者には積極的にご協力いただき、『自分で作り、自分で食べる』ことの楽しさを堪能していただきました。

ご入居者と職員と一緒に作ったこともあるのか、食事中も話が弾み、「自分が作った」だの「〇〇さんが塩を入れ過ぎた」だのと、笑顔あふれるランチ会となりました。食べ残すこともなく、この企画は大成功！ご入居者の笑顔は、我々職員の大きなやりがいとなることを改めて実感した1日となりました。美味しいものを作るには丁寧な準備から！



美味しい誕生会になりました

豊川の渡し船

医療法人啓仁会 豊川さくら病院 (愛知県豊川市) 医療技術室長 長坂 嘉奈子

通勤路に気になる看板を見つけ、その看板を見るたび何時かは行ってみようと思いつけること20年。コロナ禍で、遠方への旅行が憚られる中、この看板の先を散策してみようと思ってきました。

その看板とは「牛川の渡し」。

愛知県の東三河地区には一級河川の豊川(とよがわ)が流れています。豊川は、奥三河の段戸山塊に水源を発する本谷川と澄川が会い寒狭川(かんさがわ)となり、さらに古戦場の地・長篠で宇連川(うれがわ)と合

流した川のこと、この先は新城市を通り、豊川(とよかわ)市の街を流れ、豊橋市の市街地から三河湾に注ぎこまれます。昔は、水の透明度が四万十川よりも高いことが有名であったようです。そしてその豊川に「牛川の渡し」という渡し船があるのです。

全国には渡し船が沢山ありますが、この「牛川の渡し」の歴史は古く、平安時代835年には存在したことが書物から明らかになっています。演歌で有名な「矢切の渡し」でも江戸時代からと言いますから、長い歴史を感じさせます。豊川には多くの渡し船があったのですが、橋が架かるとその姿を消していき、「牛川の渡し」も何度となく廃止の危機を乗り越えてきたようです。

渡しに乗船するには、川のほとりにある「舟よび板」を鳴らします。よび板が鳴ると船頭さんが岸まで船をつけてくれます。船の名前は「ちぎり丸」。定員は10名で、船底には段差がなくバリアフリーの様。両側に椅子が設置されていて人と一緒に自転車なども乗せることができるようになっています。河口から7kmと海に近く、大曲と言われたほどくねくねして高低差が少ない場所なので、向こう岸までは竿1本で行くことができます。川にはロープが張ってあり、船が流れないように繋がれています。

乗船すると北に石巻山(いしまきさん)が見え、東側には豊橋創造大学があります。緑



「牛川の渡し」の看板



豊川の景色

が多く、自然豊かな場所で時の流れが止まっているようでした。

船頭さんに話を伺いますと、この渡しというのは「道路」と同じ扱いなので、土砂崩れなどで道路が通行止めになるのと同じように洪水や台風等でない限りは運航しなければならないとのこと。私が伺った時は、雨のあとで風が強く、ゆらゆらと水しぶきも上がり少し怖いと思いましたが、船頭さんは「これくらい風があると勝手に船が進むから楽だよ」とおっしゃっていました。とはいえ、毎年梅雨～11月頃にかけて30日くらいはお休み(通行止め)になるそうです。

渡しの向こう岸には養蜂場があり季節になるとハチミツを購入することもできますが、やはり豊川の上流から運ばれた肥沃な土地を生かした農業がさかんです。特にラディッシュや大葉の一大産地になっています。この渡し船が毎日、畑に行く方の大切な交通手段であることは間違いありません。

また通勤で利用している方や向こう岸の畑で働いている方以外に、近所の子供たちが常連で、向こう岸にある曹洞宗のお寺「長光寺」を目指し渡し船に乗り込みます。子供たちの目的は長光寺にある巨大トランポリン。巨大トランポリンは120kgの大人でも耐えられる特大サイズで屋外に設置されていて、数名の子供が同時に飛び跳ねて遊ぶことができます。少し覗いてみると、トランポリンの上で「だ

るまさんがころんだ」をやっていました。

利用料は豊橋市が運営しているため無料。所要時間は通常たったの5分。船頭さんの話が弾むと5分は20分にもなりました。

こんなご時世、気になっている事に1歩足を踏み入れてみることで新たな発見があるかもしれません。



渡し船に乗る子ども。川向うには石巻山



呼び出し板



牛川の渡し船「ちぎり丸」



長光寺

地域医療連携室がリニューアルされました

医療法人啓仁会 平成の森・川島病院（埼玉県川島町） 地域医療連携室 室長 小岩井 靖広

令和3年11月1日に地域医療連携室の改装工事が完了いたしました。工事期間中は外来通院中の患者様をはじめ、ご来院いただきました方々にご不便、ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

さて、新しい地域医療連携室は相談スペース2部屋、事務スペース1部屋と、部屋数は変わりありませんが、各部屋の間取りが広くなりました。以前の相談スペースは、特に車イス患者様が出入りに難渋したり、室内での方向転換がスムーズにできない、などの不便さがありましたが、それも解消されより相談に来ていただきやすい環境になりました。また、室内にはオレンジを基調とした椅子や木目調の床などを配置し、以前より明るく暖かな印象を持っていただけたと思います。

事務スペースの拡充はわれわれ地域医療連

携室職員の悲願でした。以前は最大7名の職員が、室内を移動するのにもモノや人を常に意識して避けて移動し、個別のデスクがない

ので、書類や物品などの置き場にも困る、非常に乱雑な環境でしたが、今は個別のデスクを配置しても余裕のある空間となりました。職員も気持ちに余裕をもって仕事ができるようになり、以前よりも仕事の効率が数段アップしております。たぶん…（笑）。

地域医療連携室は正面玄関を入っていただ



相談室：明るく暖かな印象



外観：天井と壁にスペースを作り空気を循環

くと、目の前にございますが、受付、待合スペースの右手に窓口がございます。入院中のお困りごとや、入院、退院に際してのご相談ごとなどございましたら、お気軽にお声掛けください。

「笑い文字」に出会えて

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 いとうの杜（静岡県伊東市） 介護福祉士 中澤 葉子

私が「笑い文字」を始めきっかけは、娘の同級生のママ友から頂いた一枚の葉書からでした。文字の隙間に可愛い笑顔が書いてあり「なんて可愛いらしいんだろう」と気持ちがあたたかくなり、ホッとしました。私もこんな可愛い文字が書けたらいいなと思い、笑い文字初級講師トレーナーの先生を紹介して頂き、講座に参加することになりました。

笑い文字は黒と朱色の筆を使用し、文字の隙間に笑顔を描いたものと、満面の笑顔を描いてメッセージを添える2種類があります。感謝と喜びを伝える筆文字のコミュニケー

ションであり、冠婚葬祭や色々な場面で活用されています。私の講師の先生は静岡県で初の公認講師になられた方であり、静岡県知事に笑い文字を書いて御礼の手紙を頂いたり、「モヤモヤさまぁ〜ず」のテレビ番組にも出演したことがある先生です。

先生の講座はいつも楽しく、笑顔が絶えません。講座を受けてから日常的に「ありがとう」という言葉を発する事が増えたように思えます。笑い文字を通じて様々な職業の方、幅広い年齢層の方々と出会うことも出来ました。コロナ禍でなかなか趣味の合う仲間と会

うことはできませんが、今まで出会った人達、これから出会う人達に『笑い文字』で感謝と喜びの気持ちを伝えていけるよう、これからも腕を磨いていきたいと思っております。

笑い文字とは・・・満面の笑顔を渡す筆文字。書いて半分、渡して完成。



笑い文字に出会えて

ロイヤル・ワム・タウン写真館

vol.41

医療法人啓仁会 法人本部
総務人事部 矢澤 誠



所沢市、金仙寺の「しだれ桜」

このコロナ禍の中、感染状況次第では近所の良い景色を観に行くことも気が引けてしまい、残念に思うことがしばしばです…今年もそんな流れで、私は桜の花を愛でるタイミングを逃してしまいました。そこで、依然に撮った写真を眺めて気を紛らわせていたのですが、そんな中の1枚をおすそ分けします。

ご紹介したのは、所沢市・金仙寺の「しだれ桜」です。金仙寺は、所沢ロイヤル・ワム・タウンより南西方面、三ヶ島地区内にあり、創建は平安時代とも伝えられる地区内でも最古といわれる真言宗の寺院です。その境内に、樹齢約150年のこの立派なしだれ桜が植えられています。私は満開の時期にこの桜を下から眺めるのが非常に大好きでした。コロナ禍以降、観に行くことはできていませんが、来年こそ是非再訪したいと思っています。

各施設でも、患者さん・利用者さんを連れ立っての外出レクはなかなか実施できていませんが、徐々にそんな機会も再開できたら良いですね！

【撮影データ】

カメラ：OLYMPUS OM-40

レンズ：OLYMPUS Zuiko 50mm/F1.4